

令和 5 年 4 月 4 日
大阪府感染症対策企画課
記者発表資料
(厚生労働省同時発表)

サル痘患者の発生について

府内の医療機関を受診していた以下の方について、府内の衛生研究所で検査したところ、サル痘の陽性が確定しました。

なお、報道機関各位におかれましては、患者様やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。また、医療機関への取材や直接のお問い合わせはお控えください。

【患者等の概要】

年代	性別	症状	医療機関 受診日	居住自治体 (居住地)	海外 渡航歴	その他
40代	男性	発熱、発疹、リンパ節腫脹、肛門直腸痛	3月27日	大阪府	なし	患者の状態は安定している

【参考：府民の皆様へのメッセージ】

○サル痘は、サル痘ウイルスによる感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。日本では感染症法上の四類感染症に指定されています。2022年5月以降、海外渡航歴のないサル痘患者が欧米等を中心に世界各国で確認されています。

○主に、感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合(性的接触を含む)により感染します。また、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等も感染の可能性があります。現時点では、日常生活の中で空気感染を起こすことは確認されていません。

○サル痘の潜伏期間は6から13日間(最大5から21日間)とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0から5日続き、発熱1から3日後に発疹が出現、発症から2から4週間で治癒するとされています。

○過剰に心配することなく、発熱、発疹といった症状がある場合には、マスク着用の上、衣服やガーゼ等で皮膚の病変を覆い、お近くの医療機関を受診してください。